



## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 空海	平安時代初期には、奈良時代の仏教が政治に介入しすぎたことへの反省から、山の中に寺院を建てて修行に励む新しい仏教が求められました。空海は唐で最新の密教を学び、帰国後に和歌山県の高野山を拠点として真言宗を開きました。同時期に比叡山で天台宗を開いた最澄とともに、平安文化に大きな影響を与えました。
問2	<b>答え 1</b> 王朝名：唐、修行の名称：念仏	平安時代初期、最澄（天台宗）や空海（真言宗）は遣唐使とともに唐へ渡り、新しい仏教を日本に伝えました。平安時代中期以降、社会の混乱や末法思想の広がりを背景に、阿弥陀仏を信じて「南無阿弥陀仏」と唱える念仏により、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が盛んになりました。題目を唱えるのは鎌倉時代に始まる日蓮宗の修行であり、宋は平安時代後半から鎌倉時代にかけて交流が盛んになった中国の王朝です。
問3	<b>答え 2</b> 貿易による莫大な利益と宋銭などの輸入品を、一門の権力を維持するための経済的基盤にするため。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって政権を安定させようと考えました。大輪田泊を整備して日宋貿易を本格化させ、宋から輸入した宋銭を国内で流通させることで、貨幣経済の先駆けとなりました。この経済力が、平氏の「平氏にあらざれば人にあらざ」と言われるほどの全盛期を支えました。
問4	<b>答え 1</b> 平等院鳳凰堂	摂関政治の全盛期を築いた藤原道長の息子である頼通は、父から譲り受けた宇治の別荘を寺院に改めました。これが平等院鳳凰堂です。当時は末法思想の影響で、死後に阿弥陀仏によって極楽浄土へ導かれることを願う浄土信仰（浄土教）が貴族の間で流行しており、この建物はその極楽浄土の姿を地上に再現しようとして造られました。
問5	<b>答え 1</b> 遣唐使の廃止によって大陸との公的な交流が途絶え、それまでに取り入れた大陸文化を日本の風土に合わせて消化・吸収する動きが強まったため。	遣唐使の廃止により、中国の文化をそのまま模倣するのではなく、日本の気候や生活習慣、日本人の感性に適した形へと作り変える傾向が強まりました。これが、大和絵や寝殿造、かな文学といった日本独自の文化形成につながりました。
問6	<b>答え 1</b> 浄土信仰	平安時代中期から、社会の混乱を背景に「浄土信仰」が盛んになりました。平等院鳳凰堂はその信仰を視覚的に表現した最高傑作とされ、内部には美しい阿弥陀如来像が安置されています。この文化は国風文化の一つに分類されます。
問7	<b>答え 1</b> 国風文化 — 浄土信仰	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発達しました。平等院鳳凰堂はこの国風文化の代表的な建築物であり、その造営には、阿弥陀如来を信仰して極楽往生を願う浄土信仰が強く影響しています。天平文化は奈良時代、弘仁・貞観文化は平安時代初期の文化です。
問8	<b>答え 1</b> 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されたことで、中国との直接的な交流が減少しました。その結果、それまでの大陸文化の影響を残しながらも、日本の貴族の生活や感性に適した独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。
問9	<b>答え 1</b> 自身の娘を天皇の後とし、その子供を次の天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚として政治を行う摂関政治。	藤原氏は平安時代、天皇との婚姻関係を深めることで権力を維持しました。自分の娘が産んだ子（孫）を天皇に立て、自分は天皇の母方の祖父という立場を利用して、幼い時には摂政、成人してからは関白として政治を主導しました。この仕組みを「外戚（がいせき）関係」と呼びます。

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 平安時代

名前

得点

/10

**問1** 平安時代初期、最澄は唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して新しい宗派を広めました。この宗派の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 天台宗                      2. 真言宗                      3. 浄土宗                      4. 臨済宗

**問2** 平安時代の文化的な特徴について述べた次の文のうち、かな文字の普及や当時の生活様式について正しく説明しているものはどれですか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 漢字をもとにした「かな文字」が使われるようになり、日本人の感情を表現した『古今和歌集』などの作品が編纂された。
2. 唐の都である長安を模した平城京を中心に、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化が展開された。
3. 運慶や快慶などの仏師が活躍し、東大寺南大門の金剛力士像に代表されるような、写実的で力強い彫刻が流行した。
4. 浄土信仰が広まる中で、貴族たちは極楽浄土の様子を表現するために、簡素で装飾のない禅宗様式の寺院を多く建立した。

**問3** 平安時代に発達した国風文化の中で、漢字を日本風に簡略化したり、その一部を抜き出したりすることによって作られた、日本語の音を表記するための文字を何というか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. かな文字                      2. 万葉仮名                      3. ハングル                      4. 甲骨文字

**問4** 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。
2. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。
3. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。
4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。

**問5** 平安時代初期、現在の東北地方に居住し、朝廷の支配が十分に及んでいなかった人々を指す名称として正しいものはどれですか。（2020年 鳥根公立入試 類似）

1. 蝦夷                              2. 渡来人                              3. 南蛮人                              4. 隼人

**問6** 11世紀後半、藤原氏と血縁関係の薄い後三条天皇の跡を継ぎ、1086年に幼少の堀河天皇に位を譲ったあとも「上皇」として政治の実権を握り続けた人物は誰ですか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 白河天皇                      2. 鳥羽天皇                      3. 後白河天皇                      4. 後三条天皇

**問7** 平安時代中期から後期にかけて、藤原氏が行った「摂関政治」から白河天皇が始めた「院政」へと政治の形が変化した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振った藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。
2. 地方の武士が勢力を伸ばしたため、天皇が国司の監督を強化して地方支配を安定させる必要があったため。
3. 藤原道長が自らの娘を天皇の后とすることで、天皇に代わって一切の政務を代行する仕組みを完成させたため。
4. 平氏などの武士団が朝廷の警護を行うようになり、武力による裏付けをもって新しい政治体制を築こうとしたため。

**問8** 平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇のきさき（妃）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）として朝廷の権力を独占しました。このような政治形態を何と呼びますか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 摂関政治                      2. 院政                              3. 執権政治                      4. 親政

**問9** 東北地方の地理的状況において、日本海側に位置する秋田県、その東側に隣接し太平洋に面する県、秋田県の南に位置する山形県、そして山形県の東側に隣接する宮城県という配置を想定したとき、奥州藤原氏が本拠地を置き、中尊寺金色堂を建立した「平泉」が位置する県はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 秋田県                              2. 岩手県                              3. 山形県                              4. 宮城県

**問10** 平安時代初期、朝廷の支配に抵抗する東北地方の蝦夷（えみし）を平定するために、坂上田村麻呂が任命された官職を何といえますか。後に鎌倉幕府や江戸幕府を開いた人物たちが、武士の頂点を示す称号として用いることになった名称を答えなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 征夷大將軍                      2. 摂政                              3. 関白                              4. 太政大臣

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 天台宗	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、比叡山（滋賀県・京都府の境）に延暦寺を建て、天台宗を広めました。同時期に空海が伝えた真言宗とともに、当時の貴族の間に深く浸透しました。
問2	<b>答え 1</b> 漢字をもとにした「かな文字」が使われるようになり、日本人の感情を表現した『古今和歌集』などの作品が編纂された。	国風文化の大きな特徴の一つは、漢字を変形させて作られた「かな文字」の誕生です。これにより、日本固有の言葉や繊細な感情を自由に表現できるようになり、紀貫之らが中心となって最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』がまとめられました。なお、国際色豊かな文化は奈良時代の天平文化、力強い彫刻や禅宗様式は鎌倉時代の文化の特徴です。
問3	<b>答え 1</b> かな文字	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。その中で、それまで使われていた漢字を崩したり、一部を抽出したりして、日本語特有の響きを自由に書き表せる「かな文字」が考案されました。これにより、人々の感情をきめ細やかに表現することが可能になりました。
問4	<b>答え 1</b> 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治と同じ手法を用いました。娘の徳子を高倉天皇のきさきにし、その子の安徳天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言力を持ちました。また、並行して大輪田泊（現在の神戸市付近）を整備し、日宋貿易を推進して経済力も蓄えました。
問5	<b>答え 1</b> 蝦夷	律令国家の形成を進める朝廷は、現在の東北地方に住み、独自の生活様式を保っていた人々を「蝦夷（えみし）」と呼びました。朝廷は彼らを支配下に置くため、軍事的な征服や、城柵と呼ばれる拠点の構築を長年にわたって進めました。
問6	<b>答え 1</b> 白河天皇	摂関家を外戚に持たない後三条天皇のあとを継いで即位し、退位してからも「院（上皇）」として政治を主導する仕組みを確立しました。これにより、藤原氏が摂政や関白として権力を振るった摂関政治の時代から、上皇が政治を行う時代へと移り変わりました。
問7	<b>答え 1</b> 天皇が位を退いて上皇となり、天皇の外祖父として権力を振るった藤原氏などの貴族を抑えて実権を握ろうとしたため。	摂関政治は、藤原氏が自分の娘を天皇の后にし、生まれた子を天皇に立てて、その外祖父として権力を振るうものでした。これに対し、藤原氏と血縁関係の薄い天皇が即位したことをきっかけに、天皇が位を譲った後も「上皇」として政治を行う院政が始まりました。これにより、摂政や関白として実権を握っていた藤原氏ら貴族の影響を排除し、皇室が主導権を取り戻すことが目的とされました。
問8	<b>答え 1</b> 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少の間に政治を代行する「摂政」や、成人した天皇を補佐する「関白」の職を代々独占しました。この政治体制は、武力によって権力を奪うのではなく、天皇との血縁関係を深めることで実権を握るという特徴があります。藤原道長や藤原頼通の時代に全盛期を迎えました。
問9	<b>答え 2</b> 岩手県	奥州藤原氏（清衡・基衡・秀衡の三代）は、現在の岩手県南部に位置する平泉を拠点として約100年間にわたり東北地方を支配しました。中尊寺金色堂は、その平泉に建立された代表的な建築物です。当時の東北地方は、豊富に産出される金や馬を背景に独自の文化が栄えていました。
問10	<b>答え 1</b> 征夷大將軍	桓武天皇の時代、朝廷の支配を東北地方まで広げるため、軍の総帥として坂上田村麻呂がこの職に任じられました。当初は「蝦夷を征討する將軍」という意味でしたが、後に源頼朝がこの官職を望んで得たことから、武家政権の首長を指す重要な称号へと変化しました。

問1 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 和歌山公立入試 類似）

- |                                       |  |  |  |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 1. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため | 2. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代<br>行するため | 3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結び<br>つきを強め、国の政治を安定させ<br>るため | 4. 執権政治 — 将軍の補佐役とし<br>て、鎌倉幕府の実権を独占するた<br>め |
|---------------------------------------|--|--|--|

問2 平安時代中期、社会に不安が広がる中で「阿弥陀如来を信じれば死後に極楽浄土へ行ける」という教えが流行しました。この思想に基づき、藤原頼通が宇治に建立した、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を持つ建築物の名称と、その背景にある仏教の教えの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

- |                 |                 |                |                 |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 平等院鳳凰堂 — 浄土教 | 2. 中尊寺金色堂 — 浄土教 | 3. 平等院鳳凰堂 — 禅宗 | 4. 東大寺南大門 — 浄土教 |
|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|

問3 平安時代初期に最澄が行った活動の内容として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 比叡山に延暦寺を建立し、法華<br>経の教えを中心とする天台宗を広<br>めた。 | 2. 高野山に金剛峯寺を建立し、密<br>教の教えを重視する真言宗を広め<br>た。 | 3. 念仏を唱えれば救われると説<br>き、それまでの仏教を批判して浄<br>土宗を開いた。 | 4. 宋での修行を終えて帰国し、坐<br>禅によって悟りを開く禅宗の教え<br>を広めた。 |
|---|--|--|---|

問4 8世紀から9世紀にかけて、日本は帆を張った大型の木造船を用いて、200年以上にわたり中国へ使節団を派遣していました。この船には最澄や空海などの僧も乗り込み、最新の仏教や文化を日本に持ち帰りました。このような国際的な文化交流が行われていた時代に、国内では桓武天皇の命を受け、征夷大將軍として東北地方の蝦夷（えみし）との戦いを進めた人物は誰ですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

- |           |        |         |         |
|-----------|--------|---------|---------|
| 1. 坂上田村麻呂 | 2. 卑弥呼 | 3. 藤原道長 | 4. 藤原頼通 |
|-----------|--------|---------|---------|

問5 平安時代中期、藤原氏は自身の娘を天皇の后（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで権力を維持しました。このように、天皇が幼少のときはその後見人として、成人した後は補佐役として、藤原氏が政治の実権を握った体制を何といいますか。（2022年 京都公立入試 類似）

- |         |         |       |          |
|---------|---------|-------|----------|
| 1. 摂関政治 | 2. 執権政治 | 3. 院政 | 4. 建武の新政 |
|---------|---------|-------|----------|

問6 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 平安時代の摂関政治が行われていた時期、地方政治の現場では大きな変化が起きていました。本来、地方の行政を担うべき国司が、任地に赴かず京都に留まったまま、その土地の収入のみを得るという形態が増加しました。このような国司のあり方を何と呼びますか。（2023年 奈良公立入試 類似）

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 遙任 | 2. 受領 | 3. 地頭 | 4. 守護 |
|-------|-------|-------|-------|

問8 国風文化の時期には、かな文字の発達により優れた文学作品が多く書かれました。紀貫之らが天皇の命を受けて編纂した、日本で最初の勅撰和歌集（天皇の命令でまとめられた和歌集）は何ですか。（2022年 大阪公立入試 類似）

- |        |           |          |        |
|--------|-----------|----------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 古今和歌集 | 4. 懐風藻 |
|--------|-----------|----------|--------|

問9 平安時代末期、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った平清盛は、自身の経済的基盤を固めるために中国の王朝との貿易を推進しました。この時、貿易を円滑に行うために現在の神戸市に整備された港と、貿易の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 石川公立入試 類似）

- |                |             |              |              |
|----------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 大輪田泊 — 日宋貿易 | 2. 堺 — 日明貿易 | 3. 那の津 — 遣唐使 | 4. 長崎 — 南蛮貿易 |
|----------------|-------------|--------------|--------------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため</b>	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問2	<b>答え 1</b> <b>平等院鳳凰堂 — 浄土教</b>	藤原氏が摂関政治で権勢を誇った時代、末法思想（仏教の教えが衰えるという考え）の影響で、死後の救済を求める浄土教が貴族から民衆まで広く浸透しました。藤原頼通は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようと、池を中心とした浄土庭園を備える平等院鳳凰堂を京都の宇治に建立しました。選択肢にある中尊寺金色堂は奥州藤原氏によるもの、東大寺南大門は鎌倉時代の建築です。
問3	<b>答え 1</b> <b>比叡山に延暦寺を建立し、法華經の教えを中心とする天台宗を広めた。</b>	最澄は、奈良時代の政治に関わりすぎた仏教のあり方を反省し、山の中での修行を重んじました。近江国（現在の滋賀県）の比叡山を拠点とし、すべての人が仏になれるという法華經の教えを説いたことが天台宗の特徴です。空海が高野山で開いた真言宗と混同されやすいですが、開祖と拠点の山の組み合わせを正確に把握する必要があります。
問4	<b>答え 1</b> <b>坂上田村麻呂</b>	当時の日本は遣唐使を派遣し、唐の進んだ制度や仏教文化を取り入れていました。最澄や空海が渡海したこの時代は、国内での中央集権化も進められていた時期にあたります。桓武天皇は国内の安定と勢力拡大を目指し、坂上田村麻呂を征夷大将軍に任命して東北地方へ派遣しました。彼は軍事的な成功を収めるだけでなく、現地の支配を安定させるための拠点作りを担いました。
問5	<b>答え 1</b> <b>摂関政治</b>	藤原氏は、天皇が幼少のときに置かれる「摂政」と、成人した後に置かれる「関白」という重要な役職を独占することで政治を動かしました。この二つの役職の名称から、この政治体制は摂関政治と呼ばれます。藤原道長やその子である頼通の時期に全盛期を迎えました。
問6	<b>答え 2</b> <b>桓武天皇</b>	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年が平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問7	<b>答え 1</b> <b>遙任</b>	平安時代中期、貴族が摂関政治を通じて権力を握る一方で、地方の統治を任された国司の中には、任国へ行かず代理人を派遣し、自らは京都で生活を送る者が現れました。これを遙任と呼びます。これにより地方政治の監視が不十分になり、現地の有力者が勢力を強めるなど、統治の混乱を招く一因となりました。
問8	<b>答え 3</b> <b>古今和歌集</b>	紀貫之らは、漢字を簡略化して作られた「かな文字」を用いることで、日本人の繊細な感情を和歌として表現しました。こうしてまとめられた『古今和歌集』は、その後の日本文学における和歌の地位を決定づける重要な作品となりました。
問9	<b>答え 1</b> <b>大輪田泊 — 日宋貿易</b>	平清盛は瀬戸内海の制海権を確保し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に行いました。大型の船が安全に入港できるよう、現在の神戸市兵庫区にあたる大輪田泊を大規模に修築しましたが、当時の記録にも残されています。この貿易によって宋銭などが日本に流入し、貨幣経済の普及にもつながりました。

問1 平安時代の政治体制の変遷について、初期、中期、後期の順に出来事を並べたものとして正しいものはどれですか。（2019年 新潟

県公立入試 類似）

1. 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、白河上皇が院政を始めた時期
2. 白河上皇が院政を始めた時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期
3. 藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、白河上皇が院政を始めた時期
4. 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、白河上皇が院政を始めた時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期

問2 遣唐使の派遣によってもたらされた平安文化の始まりに関する記述として、適切なものはどれか。高野山に金剛峯寺を建て真言宗を広めた空海と対比される、比叡山に拠点を置いた人物と宗派の正しい組み合わせを選択しなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 最澄 — 天台宗
2. 最澄 — 真言宗
3. 空海 — 天台宗
4. 行基 — 浄土宗

問3 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃とし、その子を天皇に立てることで政治の実権を握りました。天皇が幼少のときはその後見人として、成人してからはその補佐役として政治を行ったこの体制を何といいますか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 摂関政治
2. 院政
3. 律令政治
4. 幕府政治

問4 白河天皇が始めた「院政」という政治体制の説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）

1. 天皇の位を退いた人物が、天皇家の当主として摂政や関白の力を抑えて実権を握る政治。
2. 天皇が幼少のときに、母方の親戚である藤原氏が代わって政治を行う政治。
3. 征夷大將軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地と武士を支配する政治。
4. 天皇自らが政治の全責任を持ち、貴族の合議制を廃止して独裁的に進める政治。

問5 平安時代初期、桓武天皇から軍の最高指揮官である「征夷大將軍」に任命され、東北地方で朝廷に抵抗していた蝦夷（えみし）を服属させた人物は誰ですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 坂上田村麻呂
2. 阿部比羅夫
3. 源頼朝
4. 平清盛

問6 11世紀後半の日本では、それまで長く続いた摂関政治に代わり、天皇が位を退いてからも「上皇」として引き続き政治の実権を握る新しい政治形態が始まりました。この政治を始めた人物として正しいものは誰ですか。（2025年 岡山公立入試 類似）

1. 白河天皇
2. 聖武天皇
3. 桓武天皇
4. 持統天皇

問7 日本の歴史を時系列で整理した際、飛鳥時代から平安時代末期までの約500年間は、一つの大きな時代枠として定義されます。この期間が終了し、次の時代区分へと移行する要因となった歴史的な出来事として最も適切なものはどれですか。（2017年

秋田県公立入試 類似）

1. 武士が台頭し、政治の実権が貴族から武家へと移り変わったこと
2. 仏教が伝来し、聖徳太子によって冠位十二階が制定されたこと
3. 鉄砲が伝来し、織田信長らによって天下統一が進められたこと
4. 大政奉還が行われ、明治政府による中央集権国家が成立したこと

問8 平安時代中期の政治動向を記した記録において、幼少の天皇のときには摂政として、天皇の成人後も実質的な指導者として権勢を振るい、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰ですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 藤原道長
2. 藤原不比等
3. 藤原頼通
4. 藤原清衡

問9 日本の古代政治の変遷を記した年表において、律令に基づく政治のしくみが整えられた時期の次に来る、藤原道長が活躍した「時代の特色」として最も適切な説明はどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 天皇との親戚関係を背景に、有力な貴族が摂政や関白の職に就いて政治を主導した。
2. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を排除して政治の実権を握った。
3. 武士が政治の表舞台に現れ、土地の支配をめぐる争いを解決するために幕府を開いた。
4. 実力のある戦国大名が各地を支配し、統一政権を目指して激しい抗争を繰り広げた。

問10 藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂と、室町時代に足利義政が建立した慈照寺銀閣（銀閣）を比較した説明として、平等院鳳凰堂の特徴を正しく述べたものはどれか。（2018年 鳥取公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を強く受け、書院造と呼ばれる簡素な武家文化の様式を取り入れている。
2. 阿弥陀如来を祀り、華麗な装飾や池を中心とした配置によって極楽浄土を表現しようとした。
3. 大陸との貿易で得た富を象徴するため、建物の外壁全体に金箔を貼り巡らせている。
4. 一層目が住宅風、二層目が禅宗様式の仏堂という、異なる文化が融合した二層構造である。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北に派遣した時期、藤原氏が摂政・関白として実権を握った時期、白河上皇が院政を始めた時期	平安時代初期には桓武天皇が平安京へ遷都し、蝦夷征伐のために坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じました。中期になると藤原道長らによる摂関政治が全盛期を迎え、後期には藤原氏の勢力を抑えるために白河上皇が院政を開始しました。政治の実権が「天皇」から「藤原氏（貴族）」、そして「上皇」へと移り変わった歴史的背景を理解することが重要です。
問2	<b>答え 1</b> 最澄 一 天台宗	平安時代初期の新しい仏教は、奈良時代の政治に関与した仏教から離れるため、山の中に寺院を建てて修行を行う「山岳仏教」としての特徴を持ちました。最澄が比叡山に延暦寺を建てて開いたのが天台宗であり、空海が高野山に金剛峯寺を建てて開いたのが真言宗です。最澄の「最」と比叡山の「比」をセットで覚えるなど、混同を防ぐことが重要です。
問3	<b>答え 1</b> 摂関政治	藤原氏が天皇の母方の親戚（外戚）という立場を利用して、摂政や関白の職を独占した政治形態を指します。11世紀の藤原道長・頼通の親子の時代に全盛期を迎えました。これに対し、天皇が位を譲った後に上皇として行う政治を「院政」と呼び、区別する必要があります。
問4	<b>答え 1</b> 天皇の位を退いた人物が、天皇家の当主として摂政や関白の力を抑えて実権を握る政治。	院政は、現職の天皇（在位中の天皇）の後見する立場にある上皇が、政治の決定権を握る仕組みです。これにより、天皇の補佐役である摂政や関白の職務を形骸化させ、特定の貴族に権力が集中するのを防ぎました。白河・鳥羽・後白河の三代の上皇によって約100年にわたり強力に推進されました。
問5	<b>答え 1</b> 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都とともに、律令国家の支配を広げるため東北地方の平定に力を入れました。この時、大軍を率いるリーダーとして起用されたのが坂上田村麻呂です。彼は蝦夷の首長であったアテルイを降伏させ、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどの功績を挙げました。阿部比羅夫は飛鳥時代に東北へ派遣された人物、源頼朝は鎌倉幕府を開いた人物です。
問6	<b>答え 1</b> 白河天皇	1086年に白河天皇が幼い堀河天皇に位を譲り、上皇となった後も「院」において実権を握り続けたことが院政の始まりです。これにより、天皇の外戚として権力を振っていた藤原氏（摂関家）の影響を抑える狙いがありました。聖武天皇は奈良時代の東大寺建立、桓武天皇は平安京遷都、持統天皇は飛鳥時代の藤原京遷都で知られる人物です。
問7	<b>答え 1</b> 武士が台頭し、政治の実権が貴族から武家へと移り変わったこと	飛鳥時代から平安時代までの「古代」は、律令制度や貴族政治を基盤としていました。しかし、12世紀末の平安時代末期になると、軍事力を持つ武士が政治的に重要な役割を果たすようになり、鎌倉幕府の成立をもって本格的な武家政治の時代である「中世」へと移り変わります。このように、支配階級が貴族から武士へ交代したことが時代区分の大きな境界となっています。
問8	<b>答え 1</b> 藤原道長	藤原道長は、自分の4人の娘を次々と天皇の后に送り込み、天皇の母方の祖父（外祖父）という立場を利用して政治の主導権を握りました。「この世をば 我が世とぞ思う 望月の…」という有名な歌は、彼が摂政として、また外戚として最高権力を手に入れた喜びを詠んだものとされています。
問9	<b>答え 1</b> 天皇との親戚関係を背景に、有力な貴族が摂政や関白の職に就いて政治を主導した。	律令制度による中央集権的な政治が変化していく中で、平安時代中期には藤原氏が天皇の補佐役である摂政や関白を独占する摂関政治が確立されました。藤原道長はこの体制を最も強固にした人物であり、貴族が政治の中心を担ったこの時代の大きな特徴となっています。
問10	<b>答え 2</b> 阿彌陀如来を祀り、華麗な装飾や池を中心とした配置によって極楽浄土を表現しようとした。	平等院鳳凰堂は平安時代の貴族文化を代表する建築で、浄土信仰に基づき、池の中に建物が浮かぶような宮殿風の造りが特徴です。一方、足利義政の銀閣は、簡素さを重んじる東山文化（室町時代）の代表例であり、禅宗の精神や後の日本住宅の原型となる書院造が特徴であるため、建立の背景や様式が異なります。

問1 福島県は、地形や歴史的背景から「会津」「中通り」「浜通り」の3つの地域に大別されます。このうち、太平洋に面した浜通り地方に位置し、平安時代末期に奥州藤原氏の縁者によって建立された国宝「白水阿弥陀堂」がある都市を選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. いわき市                      2. 福島市                      3. 郡山市                      4. 会津若松市

問2 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 政治から離れ、人里離れた山中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した      2. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした      3. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた      4. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした

問3 歴史上の記録によると、9世紀のはじめに東北地方の指導者であった「人物X」が、朝廷から派遣された「人物Y」に降伏したという事実が記されています。この「人物X」と「人物Y」の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 人物X：アテルイ — 人物Y：坂上田村麻呂      2. 人物X：蘇我馬子 — 人物Y：聖徳太子      3. 人物X：中大兄皇子 — 人物Y：中臣鎌足      4. 人物X：物部守屋 — 人物Y：蘇我入鹿

問4 7世紀半ば、中大兄皇子らによって行われた「大化の改新」と呼ばれる一連の政治改革において、それまでの豪族による支配を改め、土地と人民を国家の所有とした方針を何と呼びますか。（2018年 高知公立入試 類似）

1. 公地公民                      2. 鎮護国家                      3. 外戚政治                      4. 封建制度

問5 平安時代の政治の変遷を整理した際、藤原道長が摂政となった時期を含む「摂関政治」の全盛期に関する説明として、時期や人物の関係が正しいものを次の中から選びなさい。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. 藤原道長は、自分の3人の娘を次々と天皇の后に入れることで、盤石な地位を築いた。      2. 藤原道長は、武士の力に対抗するため、檢非違使を廃止して自分の私兵を公的な軍隊とした。      3. 藤原道長は、菅原道真を太宰府に左遷することで、他氏排斥を完了させて摂政に就任した。      4. 藤原道長は、平清盛の娘を天皇の后に迎える仲立ちをすることで、武家との連携を強めた。

問6 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 聖武天皇                      2. 桓武天皇                      3. 天智天皇                      4. 推古天皇

問7 藤原道長を中心とした当時の家系図を見ると、道長の娘たちは一条天皇、三条天皇、後一条天皇、後朱雀天皇らと婚姻関係にあり、次々と皇子をもうけています。このような婚姻を通じた政治体制において、天皇が幼少の間に、天皇に代わって政治を行う職を何と呼びますか。（2025年 岡山公立入試 類似）

1. 摂政                              2. 関白                              3. 太政大臣                      4. 征夷大將軍

問8 平安時代初期、坂上田村麻呂が任命された「征夷大將軍」という役職の、当時の本来の目的として最も適切な説明はどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 東北地方で朝廷の支配に抵抗する蝦夷を鎮圧し、勢力圏を広げるため      2. 鎌倉に幕府を開き、全国の守護や地頭を統制して武家政治を行うため      3. 京都の治安維持を担う檢非違使を指揮し、貴族の身辺を警護するため      4. 元（モンゴル帝国）などの大陸勢力による侵攻に備え、九州の防衛を固めるため

問9 平安時代初期、最澄が比叡山に延暦寺を建てて開いた天台宗や、空海が高野山に金剛峯寺を建てて開いた真言宗に共通する、当時の仏教の傾向として最も適切なものはどれですか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 政治から距離を置くために、人里離れた山の中で厳しい修行を行うことを重んじた。      2. 文字が読めない庶民のために、踊りを通じて教えを広めることを重視した。      3. 貴族の権力を抑えるために、奈良の都を中心に政治を直接動かすことを目的とした。      4. 戦乱に苦しむ人々を救うために、念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けると説いた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>いわき市</b>	白水阿弥陀堂は福島県いわき市に所在する平安時代末期の建築物です。いわき市は太平洋沿岸の「浜通り地方」に属しています。一方、県庁所在地の福島市や交通の要所である郡山市は「中通り地方」、鶴ヶ城で知られる会津若松市は「会津地方」に位置しており、福島県の地域区分を理解することが重要です。
問2	<b>答え 1</b> <b>政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した</b>	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。
問3	<b>答え 1</b> <b>人物X：アテルイ — 人物Y：坂上田村麻呂</b>	平安時代初期、桓武天皇は東北地方への支配を拡大するため、大規模な軍勢を派遣しました。この時、東北で抵抗を続けていた蝦夷（えみし）のリーダーがアテルイであり、朝廷から「征夷大將軍」として派遣され、最終的にアテルイを降伏させたのが坂上田村麻呂です。田村麻呂はアテルイの武勇を認め、朝廷に命を助けるよう嘆願しましたが、受け入れられずアテルイは処刑されました。
問4	<b>答え 1</b> <b>公地公民</b>	中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足は、蘇我氏を倒した後に唐の律令制度を模範とした改革を進めました。それまで豪族が私有していた土地（田荘）や人民（部民）を国家が直接支配する「公地公民」の原則を打ち出し、天皇中心の中央集権国家の確立を目指しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>藤原道長は、自分の3人の娘を次々と天皇の后に入れることで、盤石な地位を築いた。</b>	藤原道長は、長女の彰子をはじめとする3人の娘を順次天皇の后（一和三后）とすることに成功し、複数の天皇の外祖父となることで長期にわたる独裁的な権力を手に入れました。菅原道真を排斥したのは道長より以前の藤原時平の時代であり、平清盛は道長より後の時代に、藤原氏の摂関政治を模倣して権力（武家政治への過渡期）を握った人物です。
問6	<b>答え 2</b> <b>桓武天皇</b>	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年間は平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問7	<b>答え 1</b> <b>摂政</b>	藤原道長は、4人の娘を次々と天皇の后にすることで、3人の天皇の祖父となることに成功しました。このように天皇の母方の親戚（外戚）として、天皇が幼い時に代わって政治を行う職を「摂政」と言います。天皇が成長した後に、天皇を補佐して政治を行う職は「関白」と呼ばれます。
問8	<b>答え 1</b> <b>東北地方で朝廷の支配に抵抗する蝦夷を鎮圧し、勢力圏を広げるため</b>	征夷大將軍は、もともとは「東方の夷（えびす）を征討する大將軍」という意味であり、平安時代初期には東北地方の蝦夷を服従させるための臨時の官職でした。のちに源頼朝がこの職に就いて以降、武士の棟梁（リーダー）としての意味合いが強まり、幕府の首長を指す言葉へと変化していきました。
問9	<b>答え 1</b> <b>政治から距離を置くために、人里離れた山の中で厳しい修行を行うことを重んじた。</b>	奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、平安時代初期に登場した最澄（天台宗）や空海（真言宗）は、山の中に寺院を建てて厳しい修行に励むスタイルをとりました。これを山岳仏教と呼びます。選択肢にある念仏による救済や踊念仏は、のちの鎌倉時代に広まった仏教の特徴です。